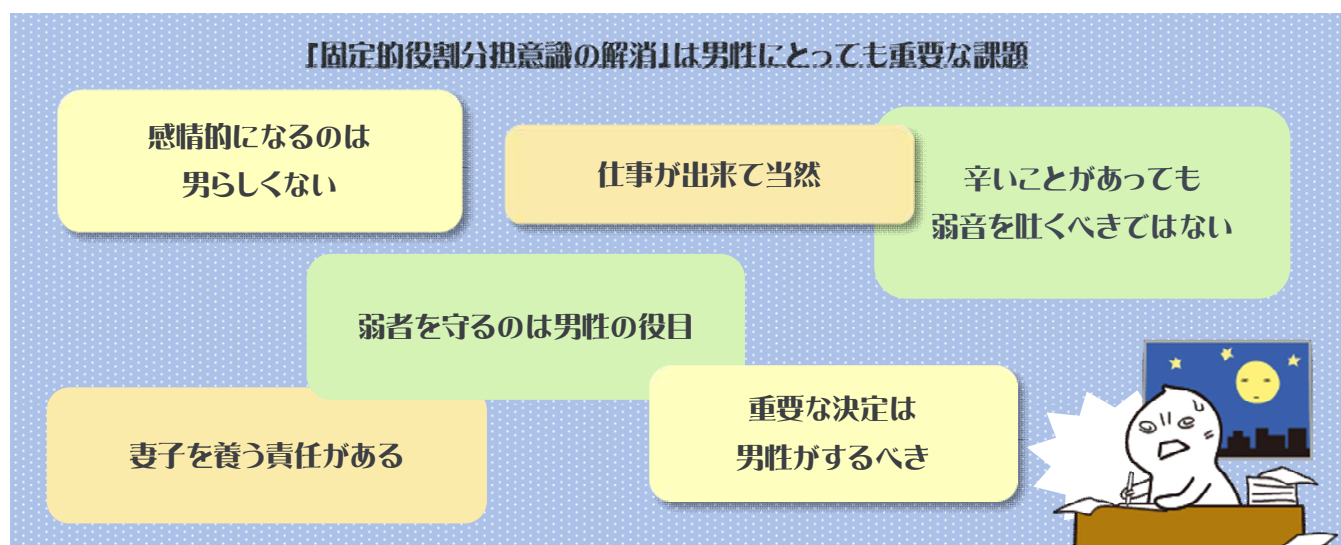


○ 男性にとっての男女共同参画

「固定的役割分担意識」については、これまでに何度も伝えてきましたが、これにより女性だけではなく男性も困難な状況に追い込まれることがあります。例えばこのような経験はありませんか？

- 仕事が残っているのに残業をせず定時退社すると、仕事が出来ないと見なされる空気がある
- 育児休暇を取りたくても何となく取り辛い雰囲気がある

このような環境では責任や弱音、または家事や育児・介護などの難しさや喜びなどを、家族と分かち合ったりするのは難しいですね。



男女共同参画社会は、性別にとらわれることなく誰でも平等に自分の能力や個性を発揮できる社会です。

なので男性への固定的役割分担意識の解消や長時間労働の見直しなど、女性だけではなく男性にとっても過ごしやすい環境づくりが求められています。これからの社会では、どちらか一方に責任や役目を負わせるのではなく、責任や喜びを分かち合いながら、それぞれが自分の能力を仕事だけではなく家庭や地域で発揮できるような柔軟な生き方をしていく事が大切です。

「気付き」が初めの 第一歩

男女がともにお互いを認め合う男女共同参画社会の実現を目指すには自分たちの中に存在している「視点」に気づくことが大切です。以下の主張みなさんはどう考えますか？

学校から帰ってきたら、お母さんが病気で寝込んでいて夕食の準備や洗濯物の取り込みをお願いされた。家にはお兄ちゃんもいたのになんで自分にだけ？



デパートの男性トイレにはおむつ取り換えスペースや赤ちゃん用のいすがないから大変だよ。